

平成 28 年度 事業状況報告

〔自然環境保全活動等事業（公 1 事業）〕

〔 予 算 44,559 千円
 決 算 39,552 千円 〕

公益財団法人大阪みどりのトラスト協会の設立目的である「府民の参画や協働による自然環境の保全運動」を推進するため、以下の点に重点を置いた取り組みを行っております。

- 自然環境の保全活動については、法的指定根拠をもつ三草山ゼフィルスゼフィルスの森、地黄湿地（能勢町）及び和泉葛城山ブナ林（岸和田・貝塚市）の 3 保全地について、保全対象の再整備を 3 ヶ年の取り組みとしてスタートしており、2 年目の課題に取り組みました。
- 3 ヶ年の取り組みについては、専門性、作業の安全性等を考慮して、一部外部委託し、ボランティア活動として実施可能な取り組みについては、企業等の CSR 活動も取り入れた活動としました。
- これ以外の保全活動については、活動の一部支援制度の活用や里山の保全活動として土地所有者や地元ボランティアとの連携により、林野庁の交付金を活用した大阪さとり事業を活用するなど、自立的なボランティア活動の推進に取り組みました。
- 企業等による CSR 活動や学校、各種団体などとの森林・環境の体験学習等を通じて、保全活動実施団体との連携ネットワークの構築に努めました。
- 保全活動を担う「みどりすと」の育成やスキルアップのため、上記 3 保全地をベースとした人材育成の講座を開設し、新たな切り口による新規参入者の開拓に取り組みました。

以上、府域の自然環境について、大阪版レッドリスト（H26 改訂）の現状を踏まえ、生物多様性の保全を共通の目的として、実践的に取り組みました。

1. 自然環境保全活動

1) 和泉葛城山ブナ林保全再生事業；

国の天然記念物（大正 12 年指定）であり、金剛生駒紀泉国定公園特別保護地区にも指定されている和泉葛城山ブナ林は、ブナの南限域にあり、天然記念物の区域（コアゾーン）は 10ha 程度で、樹木の安定な生育区域として狭小であることから、大阪府が国定公園指定時に緩衝樹林帯（バッファゾーン 47ha）

として周辺用地を取得し、ブナの増殖活動が続けられてきました。
 昨年度、「和泉葛城山ブナ林保護増殖検討委員会」（会長代行；三重県立総合博物館特別顧問 布谷 知夫）において、増殖地のブナの生育環境を改善するための3ヶ年計画が承認され、事業を開始しています。
 地球温暖化などの影響もあり、コアゾーンの自生ブナの成立本数は下表のとおり、減少傾向にあるとともに、健全種子の確保が難しくなっています。

西暦年	胸高直径	ゾーン区分		
		コア	(参考)バッファー	
1990年	30cm 以上	279	18	バッファー 部分調査 33ha
	30cm 以下	430	308	
	計	709	326	
2013年	30cm 以上	194	18	バッファー 全体調査 47ha
	30cm 以下	271	246	
	計	465	264	

※コアゾーン成立本数；この20数年で大径木が70%、小径木で63%に減少

(平成28年度の主な事業内容)

○3ヶ年事業計画〔バッファーゾーンでの増殖地の生育環境改善〕に基づく
 H28年度事業の実施

- ・増殖地の刈払い及び除伐 0.79ha
- ・受光伐（間伐） 0.93ha
- ・小面積皆伐（2ヶ所） 0.11ha
- ・ブナ幼樹移植（近接増殖地から） 55本

○その他安全通行のための整理

- ・マツ枯損木（危険木）伐倒 42本
- ・危険衰退ブナ欠頂木の伐採 1本



〔増殖地の除伐〕



〔ブナ稚樹の移植〕



〔イノシン柵設置の苗畑の状況〕



〔苗畑のブナ苗の状況〕

○ブナ林関連調査；

- ・ブナ林の植生調査 大阪府立大学共同研究

○増殖活動継続のための苗木の確保と養生

- コアゾーンで採取した種から苗木を育成し養生を継続

H28 年度末現在 28 本養生中

○普及啓発とボランティア活動参加呼びかけのための観察会、ハイキング実施

- ・春のブナ林ハイク（観察会）
5月29日（日） 参加26名
- ・秋のブナ林ハイク（観察会）
11月23日（祝） 参加67名



〔11/23 秋季ブナ林ハイク〕

- ・ブナ林の保全に即した順応的管理の試行とモニタリングの実施
 - ・ブナ愛樹クラブ 定例活動など 全24回 参加者353名
 - ・花芽調査 結実調査 実生苗調査（バッファゾーン）

2) 三草山ゼフィルスの森保全事業；

大阪府の緑地環境保全地域に指定されている三草山ゼフィルスの森（14.5ha）には、日本に生息するミドリシジミチョウ類（学名ゼフィルス「森の宝石」とも言われる）25種の内10種が生息し、中でもヒロオビミドリシジミは日本の分布の東限域にあり、府内では唯一の生息地です。

ゼフィルスの森は地元をはじめ様々な人の協働で、三草山の裾野に広がる棚田も含めた里地里山の一体的な保全活動が続けられていますが、森林の保全については、従来の鹿の食害に加えて、ナラ枯れ被害が進んでおり、昨年、「三草山

ゼフィルスの森保全検討会議」(会長;大阪府立大学理事 石井 実)での検討
(11/16)を踏まえて、2年目の更新事業を実施しました。

(平成28年度の主な事業内容)

○管理事業

- ・ササのゼブラ型(w=25m)刈り払い 3.44ha
- ・防火帯刈り払い 2.35ha

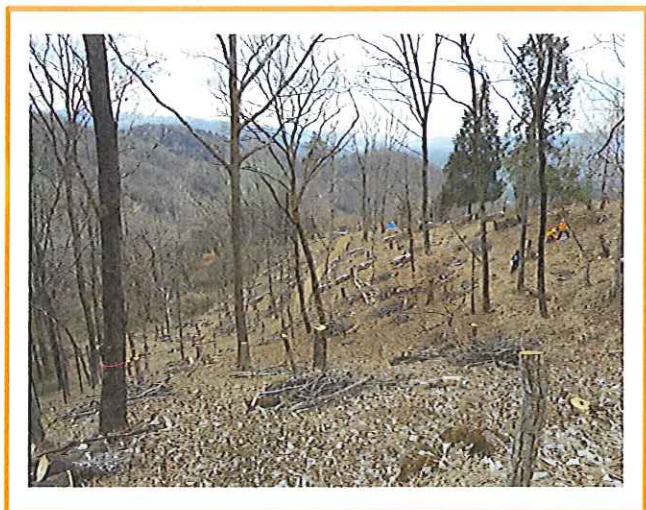
○更新事業

- ・大径木の択伐(強度)での萌芽更新作業 0.77ha
- ・防鹿柵の設置 700m(3か所)

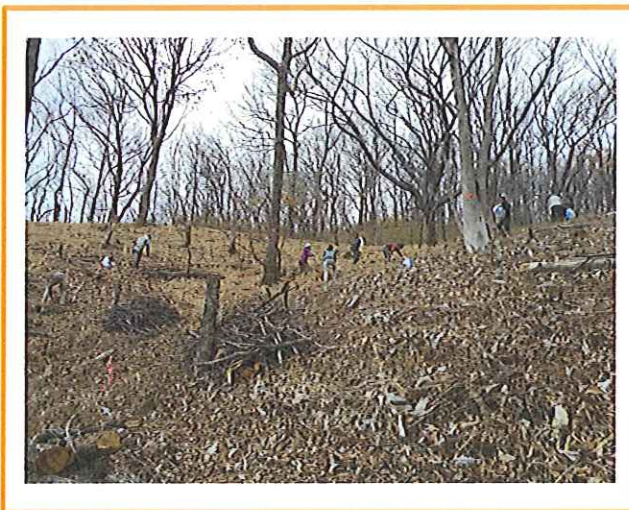
- ・ナラガシワ(150)、ヤマハンノキ(75)、
イボタノキ(75)、クヌギ(200)の補植 500本

※植栽は、企業CSR(3/4)、地域交流大学生(3/9)、ボランティア(3/19・
3/26)、NPOとの協働により実施。

- ・作業路(w=2.0m)(資機材搬出入)改良 350m



〔ナラ枯れ処理・防鹿柵設置・択伐後の森〕



〔ヤマハンノキ等補植〕



〔地域間交流での大学生による植樹〕

○ゼフィルスゼフィルスの生息環境に適した森林の順応的管理の試行とモニタリングの実施

- ・ゼフィルスの森植生調査 大阪府立大学共同研究
- ・能勢みどりすとクラブ
定例活動等 37回 参加者 398名
- ・ゼフィルス観察会
6月12日(日) 参加31名
- ・ゼフィルス類個体調査
- ・ゼフィルス類卵調査

[8/17 共同研究；植生調査]



○ナラガシワなどの苗木育成と養生

80本

○ナラ枯れ対策の実施

(能勢町の国庫特別対策) 20 m³

○三草山山麓に広がる棚田の保全

活動：里地里山保全活動での
関西大学第一中学校との連携

3年生(11/1) 各学年260名

2年生(5/2) 1年生(3/10)



[遊休農地の水路づくり]

3) 地黄湿地保全再生事業；

大阪府の緑地環境保全地域に指定されている地黄湿地(全17.7ha内、湿地部分約1ha)は、貧栄養の湧水型湿地で、大阪府レッドリスト(2014版)において絶滅危惧種に指定されているトキソウ(絶滅危惧Ⅰ類)、サギソウ(絶滅危惧Ⅱ類)、ミズトンゴ(絶滅危惧Ⅰ類↑)やアカハライモリ(準絶滅危惧種)など貴重で、多様な動植物が生息、生育しています。

近年、後背森林が放置され、植生が大きく変化したことにより、湿原へのシルト質(粘土質)の供給が減るとともに、ススキや灌木類が侵入し、陸地化が進んでいます。

平成27年度、再生事業がスタートしました。「地黄湿地保全再生検討会議」(会長；兵庫県立大学名誉教授 服部 保)での検討(11/17)を踏まえて、3ヶ年再生計画の2年目の事業を行いました。

(平成28年度の主な事業内容)

○管理事業

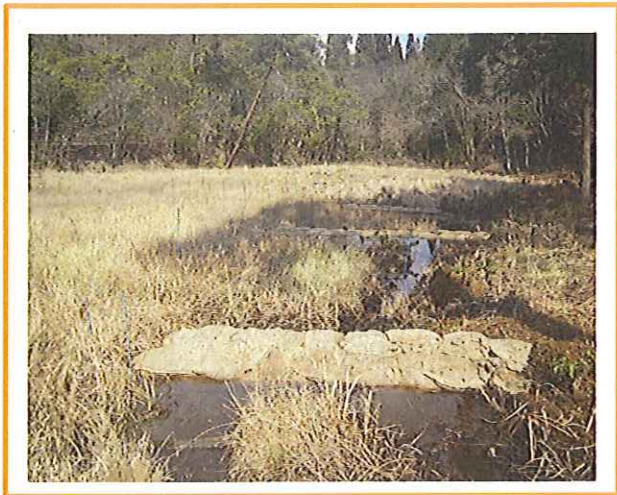
- | | | | |
|-----------------------|--------|-----|--------|
| ・刈り払い | 0.71ha | ・除根 | 0.16ha |
| ・流路土嚢敷設工(流路分散) | | | 300袋 |
| ・木栈道(H=0.5m w=0.5m)設置 | | | 2ヶ所 |



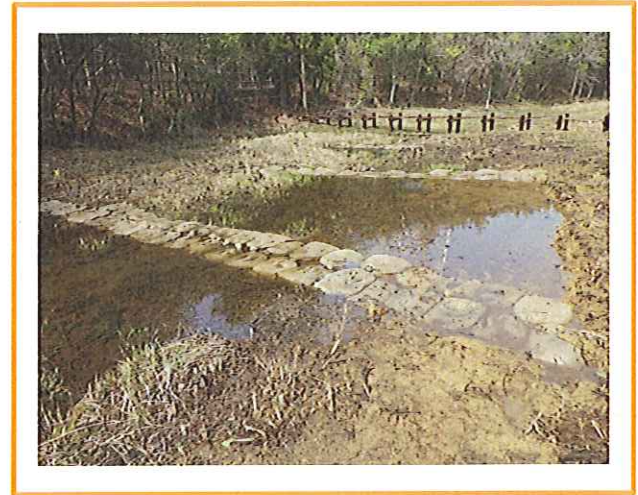
2010年1月 下池状況



〔2017年3月下池状況〕



〔2016年3月 流路分散〕



〔2017年3月流路分・散木栈道〕

- ・ススキ、湿地内小灌木の伐採撤去等の低径草原の順応的管理の試行とモニタリング
- ・水路埋戻し、水分散のための土嚢堤の設置管理

○能勢高校とのフィールド演習カリキュラムでの協働

3年生；農業科「里山の科学」

全7回のフィールド学習

受講生 延べ112名

1年生；「農業と環境概論」

フィールド学習 56名

能勢高校3年生よるトキソウ・サギソウのバイオ増殖の取り組み

2016年11月29日 特別演習
連携授業の中で、服部会長の特別演習が行われました。



〔F10 林浩三講師による実習風景〕

4) 生物多様性保全事業

大阪府自然環境保全条例に基づく自然環境保全地域に指定されている5カ所の社寺林については、従来、当該森林の管理者と保全契約を締結して巡視を含む維持管理を行ってきましたが、近年、シカの食害や竹林の進入、ナラ枯れ被害の発生など、保護的に維持することが難しくなっており、地元やボランティア団体とも連携した保全活動が進められつつあります。

本山寺	(高槻市 14ha;モミ・ツガ林)
美具久留御魂神社	(富田林市 2ha;シイ林)
若山神社	(島本町 1ha;シイ林)
意賀美神社	(岸和田市 1ha;コジイ林)
妙見山	(能勢町 10ha ;ブナ林)

○ その他の希少野生生物の保全活動

活動の自立化を促進しつつ、保全手法、保全情報の共有を進めるとともに、ボランティアの募集や情報発信など共通事務への支援を継続しております。

(平成 28 年度の主な事業内容)

能勢町歌垣・倉垣 (2ha ; ギフチョウ・キマダラルリツバメ)

- ・歌垣は活動休止中、倉垣、栗園下刈り管理 年1回 6名参加

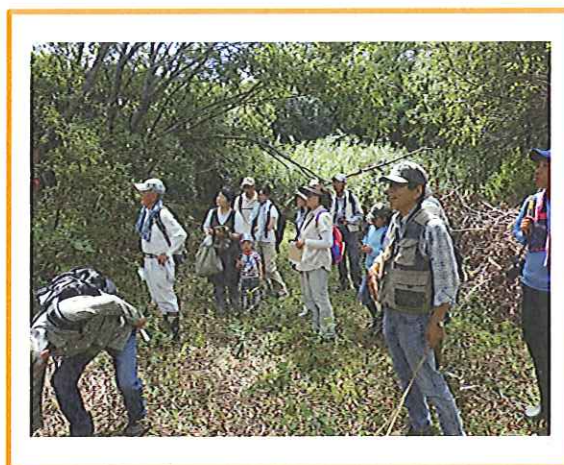
八尾水辺エコアップ (1ha ; ニホンバラタナゴ)

- ・一昨年 12/2 八尾エコアップ・バラタナゴ移設後、定例活動毎月第2水曜日 残ったタナゴのための水管理を年12回、79名参加

信太の森惣ヶ池湿地 (3ha ; カスミサンショウウオ)

- ・定例活動ほか、観察会 全 103回 257名参加

- ・保全活動地で順応的管理の試行とモニタリング手法による活動を実践することにより、継続的な保全活動に繋げるとともに、みどりのトラスト運動をより実践的なものとするよう努めました。



[8/28 信太の森の水鳥観察会]

- ・活動団体への「大阪みどりのトラスト協会緑のボランティア活動支援事業要綱」による助成の選択的实施。 など

平成 28 年度助成団体； 能勢みどりすとクラブ
和泉葛城山ブナ愛樹クラブ
NPO 法人信太の森 FAN クラブ

5) 里山保全活動推進事業

里山の生物多様性を保全するため、みどりすとや企業 CSR などと連携、協働して保全活動を行うとともに、活動地の自立化を促進するための支援を行いました。

5つの活動地の総活動回数は 260 回、総参加者 2,297 名に上ります。

- ・車作の森（茨木市 40ha）
定例活動含、観察会など 全 75 回 659 名参加
- ・いずみの森（泉佐野市 31ha）
いずみの森実行委員会(2 回)
定例活動、CSR 活動など含む 全 35 回 743 名参加
- ・島本の森（島本町 28ha）
定例、有志活動併せ 全 132 回 635 名参加
- ・蕎原の森（貝塚市 4ha）
定例活動など 全 12 回 92 名参加
- ・堀河の森（泉南市 11ha）
定例活動 全 6 回 198 名参加

(平成 28 年度の主な事業内容)

- ・活動団体への指導と普及活動をはじめとする支援と連携を継続実施。
 - ・いずみの森； 国土緑化推進機構（以下「国土緑推」）助成事業の実施
 - ・堀河の森； NTT ドコモ関西の寄付による CSR の継続実施

[12/8 こどもの森づくり体験の森事業]
国土緑推の中央事業として、泉佐野市緑の少年団の参加による体験の森づくりを行いました。計画日雨天であったため市職員やボランティアで実施。翌年度 5 月に保育活動行事を実施します。



6) 大阪さともり地域協議会事業

当協会は、平成 25 年度にスタートした林野庁の「森林・山村多面的機能発

揮対策交付金事業」の大阪府域での地域協議会（会長 武田義明神戸大学名誉教授）の事務局として、同交付金の採択から交付金の交付、事業指導までを担っています。この事業は4年目に入り、事業後の活動の継続やNPO、ボランティアの抱える共通の課題など、交流会やシンポジウムを通じて考えてきました。本年度は、これまでに検討してきた課題点を整理して、具体的な活動の指針を取りまとめ、更なる啓発に努めました。

- ・ 交付金申請採択団体
活動組織 64 組織
交付金 112,068 千円
- ・ 大阪さともり地域協議会
2回(4/19・1/12)開催
交付金申請書審査
実施状況審査



(平成 28 年度の主な事業内容) [9月22日 さともりワークショップ開催]

- ・ 活動組織間の情報交換と連携強化の目的でワークショップを開催しました。
9月22日(祝) 34名参加
- ・ 活動の継続に向け、この対策の創設者の思いや個々の活動地での取り組み紹介を目的に、昨年度初版に引き続き冊子の作成、配布をしました。

「大阪さともりネット2017」刊行

監修 武田義明 会長
前迫ゆり 副会長

作製部数；1,000部

参加活動組織・NPO・ボランティア・
地方公共団体・山林所有者等に配布

- ・ 子供向けプログラム講習会を開催しました。

3月12日(日)

参加者；6団体 16名



7) 保全活動等普及啓発

自然環境、生物多様性の保全、里山の保全についてのトラスト協会の活動実態や保全活動への積極的な参加などを呼びかけるために、「みどりのトラスト」の誌面を充実しつつ、以下の活動を行いました。

(平成 28 年度の主な事業内容)

- ・保全活動での具体的な取り組み実績を総括し、活動地で共有するとともに、府民への公開により賛同の輪を広げました。
- ・観察会などを通じて、活動のモニタリングを継続しました。
- ・総回数 12 回、総参加者 397 名でした。

【協会主催観察会など】

	実施日	イベント名	参加者	備考
春季	5月29日(日)	和泉葛城山春季ブナ林散歩	26	
	5月22日(日)	タガメの田植え	49	
	6月12日(日)	三草山ゼフィルスの森観察会	31	ゼフィルス7種確認
	6月26日(日)	地黄湿地生きもの観察会	17	トキシウ(下池)
夏季	7月31日(日)	地黄湿地生きもの観察会	23	サギソウ(上下池)
	8月28日(日)	信太の森惣ヶ池湿地生きもの観察会	16	
	9月25日(日)	タガメの稲刈り	50	
秋季	10月16日(日)	地黄湿地生きもの観察会	19	サワギキョウ(上池)
	11月23日(日)	和泉葛城山秋季ブナ林ハイク	67	岸和田市・貝塚市協働
冬季	12月4日(日)	タガメの田作り～里の冬支度	28	
	2月26日(日)	信太の森惣ヶ池湿地生きもの観察会	46	カスミサンショウウオ卵のう13個確認(和泉市合同)
	3月26日(日)	三草山 里山で薪、椎茸柁木作り体験	25	
計	12回		397	

【6/12 ゼフィルス観察会】

年に一度、この時期だけに会えるゼフィルス達、この日、森の宝石ヒロオビドリシジミ他7種類のゼフィルスを確認。



【2/26 信太の森】

カスミサンショウウオの卵のう13個確認



観察容器内の
ヒロオビドリシジミ



- ・会報誌「みどりのトラスト」4回（vol. 85～88、各回 10,000 冊）発行。

2. ボランティアの育成と普及啓発

1) ボランティア育成

トラスト協会のボランティア組織である「みどりすと」の拡充を図るため、「森人塾」のスタイルを一新し、みどりすと養成講座として再スタートを切りました。

(平成 28 年度の主な事業内容)

- ・森人塾の開設 ; H28 年度 ; 第 1 期 森人塾 修了生 17 名
- ・この内、現在 12 名がトラスト協会の会員となり、みどりすととしての活動を始めています。
- ・第 1 期生は、緩やかな横のつながりを持つため「森人塾第 1 期の会」を立ち上げ、夏には第 2 期生との交流を図る計画です。

2) 企業 CSR 活動支援事業

企業 CSR については、様々なスタイルで実施されてきた経緯があり、今後新たな CSR への参加を呼び掛けるために、また他団体との差別化のためにも実施のスタイルを整理するとともに、トラスト協会ならではの CSR スタイルを研究します。

(平成 28 年度の主な事業内容)

- ・企業等の様々な要請に答えて、みどりのトラスト運動への参画と保全活動実践を支援しました。企業からの要請は様々で、保全活動に直接つながるものであれば柔軟な受け入れしています。

【企業等 CSR 活動実績】

活 動 地	参 加 企 業 等	月 日	活 動 概 要
三草山ゼフィルの森	(株)阪急阪神百貨店 京セラ・キュメントソリューションズ(株)	6/19	定例活動
		3/4	広葉樹の補植、防鹿柵設置
いずみの森	コンドーテック(株) JP 労組泉州北支部 泉佐野緑の少年団活動 JP 労組泉州南支部 泉佐野市青年団	4/15	間伐を含む森林管理
		5/26	除伐、下刈等の森林管理
		8/28	森林学習
		10/29	除伐、下刈等の森林管理
和泉葛城山ブナ林	シニア自然カレッジ体験活動 岸和田市老健大学	3/12	間伐体験、椎茸棺木菌打ち等
		10/19	間伐体験、ブナの森観察
堀河の森	(株)NTT ドコモ関西	10/27	草刈り、ブナの森観察
		年6回	年間を通じた森林の保全管理
計	6 社 4 団体	15 回	

3) ボランティア活動自立化支援事業

3 指定保全地の内、能勢町域については、2 緑地環境保全地域と 1 自然環境保全地域があることから、「能勢みどりすとクラブ」が立ち上げられ (H26) ました。この組織の自立化を支援することで、みどりすとの保全活動や環境学習の実践を行うに当たっての連携モデルとします。

(平成 28 年度の主な事業内容)

- ・自然環境の保全、里山の保全、環境学習の自立的な推進が可能な団体を育成すべく検討会議の実施や活動でのコミュニケーションの充実に努めました。
三草・地黄の保全検討会議実施 2回 (4/9, 12/9) 実施

4) ボランティア活動運営

ボランティア保険を基本とする活動の安全・安心確保の対策を継続しました。

- ・ボランティア・イベント保険加入など
2,000 名規模の加入 (H28.6.1～ H29.5.31)
- ・ボランティア「みどりすと」意見交換会
平成 29 年 2 月 25 日 (土) 参加者 19 名



〔2/25 みどりすと意見交換会〕

5) 会員の募集

当協会の自然環境、里山の保全活動や緑化関係各種イベント、会報誌等の配布を通じて会員の拡大を図りましたが、高齢会員の退会を補うことが出来ませんでした。

新規会員登録者数	個人	16 人	法人	4 団体
平成 28 年度会員数	個人	498 人	法人	38 団体
(参 考) 平成 27 年度会員数	個人	570 人	法人	43 団体

3. その他の事業

1) 御堂筋アメニティ事業

御堂筋の美化を目的に、御堂筋の緑地帯 (淀屋橋～難波 : 約 3.2 キロメートル) にあるフラワーベース 52 基に、花卉類を植え付けて花と緑による装飾を施し、都市の緑化の推進とアメニティの向上に寄与しました。

(平成 28 年度の主な事業内容)



〔10/30 大阪マラソン：コスモス〕



〔冬季FB： クリスマスローズ〕

・ 花卉の植付け、維持管理

花卉の植付け：10月30日（大阪マラソン開催日の前に完了）
本年から花の期間を長く楽しめるように2段植えを行っており、
秋季コスモス、冬季クリスマスローズが楽しめるようになった。
灌水（含む花摘み）3回実施

・ フラワーベースの設置改善

フラワーベースのメンテナンス工事：

老朽化し、簡単な補修では改善しないフラワーベース10基を撤去し、
17基の塗装補修を行った。

※平成29年3月31日現在、御堂筋にあるフラワーベース62基⇒52基)

4. トラストファンド

和泉葛城山ブナ林のコアゾーン(10ha:国の天然記念物)とバッファゾーン(47ha:緩衝樹林帯)を一体的に保全するための「ブナの森トラストファンド」及び三草山(能勢町)に生息するミドリシジミ類の保全のための「ゼフィルスの森トラストファンド」の確保に努めました。

○ブナの森トラストファンド

寄付件数及び寄付金額	25件	700,601円
平成28年度末累計	3,952件	52,544,572円

○ゼフィルスの森トラストファンド

寄付件数及び寄付金額	15件	290,000円
平成28年度末累計	2,085件	28,643,582円

トラストファンド合計	40 件	990,601 円
平成 28 年度末累計	6,037 件	81,188,154 円
(参考) 平成 27 年度末累計	5,997 件	91,614,669 円

平成 28 年度事業状況報告

〔緑の募金事業（公 2 事業）〕

予算；収入 23,501 千円	支出 22,367 千円
決算；収入 22,021 〃	支出 18,813 〃

「緑の募金による森林整備等の推進に関する法律」に基づき、「緑の募金」の衆知を図るとともに、募金運動を積極的に展開し、市街地の緑化の推進、森林の整備、緑づくりの活動支援等に努めました。

「緑の募金」運動を、幅広い参加による府民運動として推進していくために、大阪府、府内市町村、公立私立各種学校関係、ボースカウト・ガールスカウト・緑の少年団などの青少年団体、経済団体、企業、市民団体などの積極的な協力を得て実施しました。

I. 募金運動

1. 緑の募金運動の推進

(1) 募金資材の整備

募金運動を実施するため、緑の羽根、募金箱、PR ポスターなどの資材を購入、また春・秋のキャンペーンバッジを独自製作して募金実施団体に配布しました。

ア. 緑の羽根 500,000 本

イ. オリジナル募金バッジ 秋期(H28 用)：「クヌギ」 5,000 個
春期(H29 用)：「ササユリ」 18,000 個



クヌギ



ササユリ

ウ. 募金箱、タスキ、ポスター・パンフレット等

(2) 募金運動の推進

ア. キャンペーン期間

(春期) 平成 28 年 3 月 1 日から 5 月 31 日まで

(秋期) 平成 28 年 9 月 1 日から 10 月 31 日まで

イ. 募金の実施

街頭募金、学校募金、職場募金、家庭募金、企業募金等により行いました。

ボーイスカウト、ガールスカウト、緑の少年団などの青少年団体による街頭募金をはじめとして、企業や店舗の他、公共施設等に募金箱を設置して実施しました。

ウ. 募金運動の PR

各報道機関に「緑の募金」運動の周知・協力を要請しました。

《 街頭募金キャンペーン 》

春季	4/3 ボーイスカウト（大阪駅）ほか 4/10 ガールスカウト（旭区千林商店街）ほか 4/29 岬町緑の少年団（岬町内）ほか
秋季	9/4 ボーイスカウト（近鉄瓢箪山駅）ほか 9/11 ガールスカウト（阪急水無瀬駅）ほか 9/29 大阪府立佐野支援学校（日根野イオンモール）

エ. その他、直接の募金活動として大阪中央公会堂や三井住友信託銀行梅田支店ロビーなどでパネルによる「緑の募金」の啓発を行いました。大阪府立大学花（さくら）まつり、水都おおさか森林の市、平林まつり、大阪自然史フェスティバルなど、生物多様性協働フォーラム、市町村やその他の行事で募金活動を行いました。



ボーイスカウト街頭募金



ガールスカウト・ボーイスカウト街頭募金



水都おおさか森林の市



生物多様性協働フォーラム

業界団体では、一般社団法人大阪損害保険代理業協会の総会、大阪府木材連合会の催事、大阪府農業会議の催事、大阪農協中央会、大阪府土地改良事業団体連合会などに積極的に出向き緑の募金のPR及び募金活動を実施しました。



大阪府木材連合会主催講演会

2. 募金実績

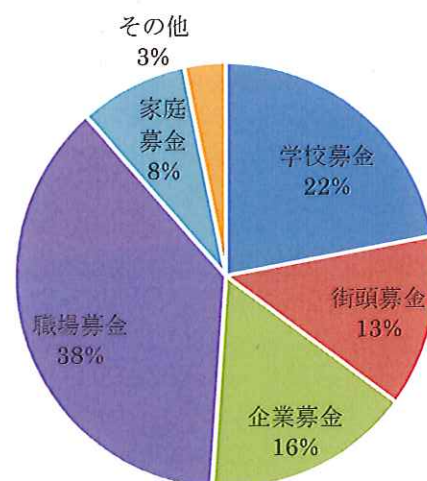
平成28年度の募金総額は、目標23百万円に対して、実績20,498,351円(974件)となりました。平成27年度に比べ金額で213,825円の増加、件数で47件減少しました。金額では学校募金が前年度比92.2%、街頭募金が同82.9%、企業募金は77.7%と減少しました。職場募金は133.7%、家庭募金は同107.5%と増加しました。

なお平成26年度には特別募金(遺産贈与400万円)がありました。

【平成 26～28 年度種別別募金額】

(単位：千円)

	H26	H27	H28	前年比
学校募金	5,501	4,901	4,517	92.2
街頭募金	3,493	3,246	2,691	82.9
企業募金	3,853	4,196	3,262	77.7
職場募金	5,817	5,740	7,673	133.7
家庭募金	1,866	1,591	1,710	107.5
その他	4,589	610	645	105.7
合計	25,119	20,284	20,498	101.1
件数	1031	1,021	974	95.4



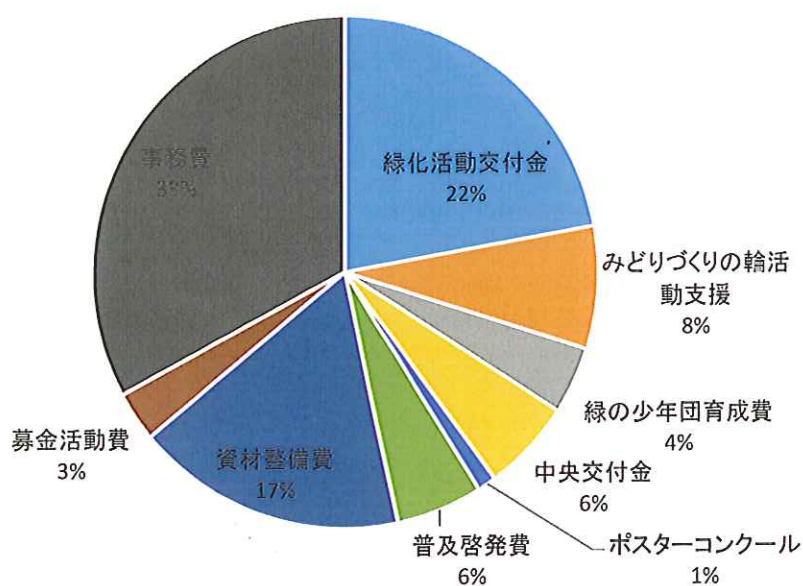
II. 事業の実施

1. 緑の募金事業支出

平成 28 年度の事業支出総額は 18,811,307 円 (減価償却費 2,048 円を除く) で、次の表・グラフのとおり事業を実施しました。

(単位:千円)

科目	金額
緑化活動交付金	4,164
みどりづくりの輪活動支援	1,459
緑の少年団育成費	800
中央交付金	1,085
ポスターコンクール	228
普及啓発費	1,039
資材整備費	3,257
募金活動費	593
事務費	6,186
合計	18,811



2、緑化推進と森林の整備

(1) みどりづくりの輪活動支援事業

地球温暖化防止にかかる運動の一環として、行政、府民、NPO、企業等多様な主体が協働して植樹に取り組む堺第7-3区での『共生の森』づくり活動や、生駒山系での『花屏風』活動（7件）に対し支援を行いました。



生駒山系花屏風活動

(2) 緑の少年団の育成

大阪府内の「緑の少年団」の育成とその活動の充実を図るため、各地の緑の少年団が行う活動に助成しました。

- ・大阪府における緑の少年団（平成28年4月1日現在）
6団体 251名（団員165名、指導者86名）

- ・交流集会の開催

平成28年10月30日（日） 岬町青少年の森
内容：各団の活動発表、間伐体験 ほか



緑の少年団 交流集会

3. 緑化の活動と普及啓発

(1) 募金団体による地域緑化の推進

地域や学校等の緑化を推進するため、募金額の一部を緑化推進事業等交付金として募金団体に交付し、植樹、花壇の整備、緑地の手入れ等の緑化活動を行いました。

・交付件数 543件



ボーイスカウト茨木1団

(2) 国土緑化運動・育樹運動ポスターコンクールの実施

児童、生徒の自然や緑への関心を高めるために、府内小・中・高等学校の協力を得て平成29年用ポスターコンクールを行い、優秀作品を国土緑化推進機構が行う全国コンクールに応募しました。

- ・応募者数 35校 160名（参加者総数 865名）
- ・トラスト協会賞 13点
- ・全国コンクールに優秀作品 14点を中央審査会に推薦、うち1名が入選（国土緑化推進機構理事長賞）（作品は別添【会報 89号】で紹介）

ポスターコンクール審査会

日時 : 平成 28 年 10 月 7 日 (金)

場所 : ATC グリーンエコプラザ内企画展示ゾーン

審査員 : 21 世紀ディレクターズユニオン代表 林信夫
池田市立北豊島中学校校長 石井理之
大阪府教員センターカリキュラム開発部 山村宏昌
大阪みどりのトラスト協会常務理事・事務局長 諸岡 充

(敬称略)



国土緑化推進機構理事長賞
東大阪市立英田南小学校
海渡 丈瑠 さん



ポスターコンクール審査会

(4) 中央交付金

募金中央団体である(公社)国土緑化推進機構が行う全国規模での緑化事業に要する経費を、平成 28 年募金額の 3%+50 万円交付しました。

(5) 普及啓発活動の実施

「緑の募金」について、当協会の会報「みどりのトラスト」に募金活動に関する記事を掲載し、普及啓発活動を行いました。

Ⅲ. 募金成果の公表

「緑の募金による森林整備等の推進に関する法律」第 21 条に基づき、平成 28 年度に実施した緑の募金事業結果について、当協会ホームページに掲載し、公告します。

Ⅳ. 緑化推進運営協議会の開催

緑の募金運動を展開するため、次のとおり緑化推進運営協議会を開催し、事業計画、収支予算等を審議しました。

- ・ 第 47 回

平成 28 年 5 月 20 日（金） 平成 27 年度 事業報告、収支決算

- ・ 第 48 回

平成 29 年 2 月 23 日（木） 平成 29 年度 事業計画、収支予算

平成 28 年度 事業状況報告

〔管理部門〕

1. 会議開催状況

理事会、評議員会の開催状況は以下のとおりです。

(1) 理事会

第 10 回理事会 (平成 28 年 6 月 1 日)

- 第 1 号議案 「平成 27 年度事業報告について」
- 第 2 号議案 「平成 27 年度決算について」
- 第 3 号議案 「寄附金等取扱規程の改正について」
- 第 4 号議案 「第 5 回定時評議員会招集について
新評議員・理事・監事の推薦について」

決議の省略 (平成 28 年 6 月 23 日)

- 第 1 号議案 「理事の改選に伴い、理事の中から会長を選定する件」
- 第 2 号議案 「理事の改選に伴い、理事の中から常務理事を選定する件」

決議の省略 (平成 28 年 11 月 4 日)

- 第 1 号議案 「岸 秀隆監事の死亡退任に伴い、後任監事候補者の評議員会への推薦の件」
- 第 2 号議案 「評議員会の決議の省略による方法により、監事 1 名の選任を求める件」

第 11 回理事会 (平成 29 年 1 月 19 日)

- 第 1 号議案 「中期経営計画策定に向けての意見交換」
- 第 2 号議案 「遺贈の使途についての意見交換」
- 第 3 号議案 「平成 29 年度の新体制についての意見交換」

第 12 回理事会 (平成 29 年 3 月 22 日)

- 報告事項 「平成 28 年度の業務執行状況の報告」
「平成 28 年度決算見込みについて」
- 第 1 号議案 「中期経営計画について」
- 第 2 号議案 「遺贈の使途について」
- 第 3 号議案 「平成 29 年度事業計画について」

- 第4号議案「平成29年度収支予算について
設備投資及び資金調達の見込みについて」
- 第5号議案「トラストファンドの取り崩しについて」
- 第6号議案「常勤役員の報酬額の決定について」

(2) 評議員会

第5回評議員会（平成28年6月22日）

- 報告事項 「平成27年度事業報告について」
- 第1号議案「平成27年度決算について」
- 第2号議案「評議員の改選について」
- 第3号議案「理事の改選について」
- 第4号議案「監事の改選について」

決議の省略（平成28年11月29日）

- 第1号議案「岸 秀隆監事の死亡退任に伴う後任監事選任の件」

2. 内部管理体制の整備状況

平成28年度において下記規程を改正しました。

- (1) 寄附金等取扱規程の改正（平成28年6月1日）